

## Cell Technology社 プロフィール

Cell technology社は香港SARに本社を置き、ネットワークとセキュリティ分野の製品を設計、開発する会社として2000年に設立されました。また、ITと通信分野の融合によるICT(Information and Communication Technology)市場にブロードバンド時代に適した革新的なネットワーク製品の開発をミッションとしています。2007年には香港SAR Government s Innovation & Technology Fundによって弊社のネットワーク技術が認定され、さらなる次世代製品の開発を進めています。この技術資金援助によってCell Technology社は継続的にAPAC地域におけるR&Dのプロフェッショナル性を持って、ネットワーク機器製造の立場を強固にしています。

弊社はソフトウェアとハードウェアの両方における開発と組込技術を有するエンジニアから構成されるリサーチ/開発チームから成り立ち、弊社の得意とする分野であるLinuxカーネルをベースとしたCRIOS (Cell Real-time intelligent Operating System)と呼ばれるOS開発やオープンな業界標準ハードウェアに組込まれるIPPE (Intelligent Packet Processing Engine)と呼ばれる技術を保有しています。ICT分野に特化したこれらの技術は革新的な機能とユニークなアプリケーションを持つ費用対効果の高いCell製品に組込まれています。また、弊社は顧客のネットワーク資産やネットワーク・インフラの価値を守るために共同開発や付加価値を追求するパートナー会社を各地域で展開しています。

## ネットワークセキュリティ市場

### ネットワーク・セキュリティに関して

ファイアウォールはセキュリティの基本である  
IDSの重要事項はシグニチャ更新とログ管理である  
IPSの設置は時間を要する  
今やルータ、スイッチからも大事な  
セキュリティ・ログが発生する  
内部統制への対応問題

### セキュリティ製品の信頼性とは

有名ブランドによる選択  
製品価格、サポート費用  
第三者機関による認定 → NSS認定  
トータル的なセキュリティログの管理

- セキュリティログの相関分析
- 次世代ステートフル相関分析  
→ 相関分析のパフォーマンス向上
- ログ管理費用の削減

## Cell IPS 不正侵入検知/ 防御システム



**Cell IPS-100/200**  
小規模企業: 100-200Mbps



**Cell IPS-510**  
中規模企業: 500Mbps



**Cell IPS-710**  
大規模企業: 800Mbps



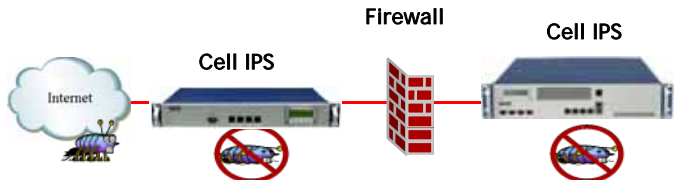
**Cell IPS-1000**  
大規模企業: 1Gbps

### ネットワークセキュリティ (不正侵入) 市場のトレンド

今やファイアウォールだけで不正侵入防御は不可能である  
IDSは市場で認知されたが、顧客は検知だけでは満足していない  
内部統制への対応問題 → DBに関するセキュリティ・ログ管理  
CPUの速度向上によりASIC技術を必要としなくなった  
相関分析技術が認知され、特殊な技術ではなくなった  
UTM製品の必要性

### Cell-IPS 使い方

インターネットへのアクセスに使う : FWの前後に設置  
公開サーバへのアクセスに使う  
イントラネット内サーバへのアクセスに使う  
イントラネット内のセグメントに設置する



## Cell UTM



**Cell UTM-50**



**Cell UTM-100**

### Cell UTM

複数のセキュリティ機能を有するワンボックス・ソリューション      FW, IPS, アンチウィルス機能を統合

## Cell CMC (セキュリティ集中監視センター)



**Cell CMC-05/10**  
小規模企業



### Cell CMCの目的

多くのメーカーの多様なセキュリティ機器 (Fire wall, UTM, IPS) を一つの監視機器で監視管理します

### Cell CMCの特徴

サーバー管理を必要としない為に廉価でログ管理ができます

### Cell CMCの使い方

- 複数のCell-IPSから発生するCell-CMCで収集して管理する
- FWのすべてのログを収集する
- FWとCell-IPSの組み合わせて発生するログを収集する
- セキュリティ機器、ネットワーク機器を含んだすべての機器のログを管理する



## Cell Janus (a Multi-WAN Service Gateway: マルチホーミング)



**Janus CX-2/CX-3 : 100Mbps**  
小規模拠点



**Janus RX-3/RX-4 : 300Mbps**  
中規模拠点



**Janus TX-4 : 700Mbps**  
**Janus TX-5 : 1Gbps**  
**Janus TX-6 : 1.2Gbps**  
大規模拠点

Cell Janusは回線が切れても自動迂回させ、ロードバランス機能によりバックアップ方式より効率よいネットワーク構築が可能です。

- 最大6本のWAN回線を接続可能
- イン/アウトのトラフィックを動的にロードバランス
- 複数のISPの選択可能
- WebベースのGUIにより、容易な導入作業
- ソフトウェアは全機種共通
- VRRP機能による冗長化
- 数千台に及び日本での納入実績



- Cell NetsVision, iCMS-Janus
- Janus 管理
- トラフィック監視
- Syslog 管理
- システム・アドミン管理とそのユーティリティ
- システム設定
- 顧客管理

iSurfJanus CX/RX3/TX, 日本でのブランド名: Multi-WAN Service Gateway  
は現在、Cell Technology社のJanus製品です。

## Cell NetsVision, iCMS

Cell NetsVision と intelligent Cell Management System (iCMS) はCell製品を監視、制御、管理する総合集約的管理ソフトウェア・プラットフォームです。監視対象となる製品は高いパフォーマンスと拡張性を持つCell IPS, UTM, CMC, Janus, NetsAccess です。それらはCell社独自の技術が組み込まれた3-tier システム構造になっており、操作、運用、プロビジョニング、Linux OSによるJavaベースのサーバ/クライアントによるGUI経由で、すべてのログ保持しサポートします。詳細情報は "Cell NetsVision Datasheet" を参照してください。



## Cell GBIC/SFP 光トランシーバ



Cell GBIC



Cell SFP  
155M/1.25G/2.67G



Cell BWD (BX) SFP



Cell CWDM SFP



Cell FC SFP



Cell 10G XFP

### Cell Technology社

**本社:** 香港SAR, **拠点:** 日本, 米国, 台湾, **業務内容:** IPネットワーク&セキュリティ市場向けプラットフォーム(ソフトウェア、ハードウェア)の設計、開発、販売、**主な製品:** Cell IPS, UTM, CMC, Janus, TMS, NetsVision, NetsAccess **ミッション:** ネットワーク・パフォーマンス、ネットワーク・セキュリティ、信頼性、IPサービスの品質を主眼にした製品開発  
**詳細情報:** www.cell-technology.net.